

(別紙2)

仕事と介護の両立事業取組結果

企業名	株式会社ブレインズポート
所在地	東京都中央区日本橋茅場町3-5-8-4F
業種	製造業
常用労働者数	4名
事業内容	化成品への印刷・加工、映像撮影・編集
ホームページ	http://brains-port.com/

1. 相談内容や従業員ニーズ調査の結果等により判明した課題	<p>(1) 調査結果と相談内容から、現在介護中1名、高齢の両親を抱える社員2名の存在が明確となった。仕事と介護の両立についての関心と危機意識は高いことが判明した。</p> <p>(2) 現在の就業規則では、将来に不安を感じている社員が複数居ることが判明した。このことから、就業規則の変更または、両立支援策の確立が必要であるとの認識が一致した。</p>
2. 働き方の見直しに関する検討状況	<p>(1) 検討方法</p> <p>平成27年10月26日(月)プロジェクトチームを編成し、検討会をかいさいすることを決定した。</p> <p><メンバー> チームリーダー 介護相談員 印刷技術部長 サブリーダー デリバリー事業部課長 メンバー 社長 映像事業部課長</p> <p>(2) 検討経過</p> <p>① 平成27年10月26日(月) 第一回検討会</p> <p>東京都産業労働局主催の「仕事と介護の両立推進シンポジウム」に参加した介護相談員である印刷技術部長より、介護の実態、現状、問題点等々の説明を実施。 メンバー全員がほとんど未知の問題であり、仕事と介護の両立の難しさ、また現実的な経済的負担等を認識した。</p> <p>この問題については、経験者、有資格者等を招聘し、現場</p>

	<p>の実際の苦勞とやりがいについて率直なプロの見解を拝聴したいとの意見が多数出た。</p> <p>② 平成 27 年 11 月 20 日(金) 第二回検討会</p> <p>ホームヘルパー1級の有資格者であり、実際にリハビリセンターでの職務経験が2年、現在は実母の介護を受け持つA氏を招聘し、介護現場の実態について2時間の講義を拝聴した。</p> <p>参加者全員がリアリティーに驚愕し、益々仕事と介護の両立の大変さを実感した。</p> <p>それとともに、現行の就業規則では両立は困難ではないか?という意見も散見された。</p> <p>③ 平成 27 年 12 月 18 日(金) 第三回検討会</p> <p>前回までの検討会の結果を踏まえて、各自よりの意見を交換。</p> <p>結論として、「在宅勤務」制度を導入しなければ両立は困難ではないか?という意見が多数を占めた。</p> <p>しかしながら、全業務において在宅勤務が実現できるのか?という点も困難であり、在宅勤務+出勤というフレキシブルな対応も同時に検討すべきとの意見も出た。</p>
<p>3. 仕事と介護の両立に関する取組計画</p>	<p><目標1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内研修会の定期的な開催による介護情報の収集と公的支援機関の発表。 ・各自の情報交換による介護への理解度を深める。 <p>(平成 27 年度から毎年二回実施を予定)</p>

	<p><目標2></p> <ul style="list-style-type: none">・介護相談員との個人面談の実施 (平成 27 年度より希望者に随時実施) <p><目標3></p> <ul style="list-style-type: none">・在宅勤務体制の具体的検討会の実施。 <p>(平成 27 年度は顧問社労士を交えて在宅勤務制度の導入を検討する。)</p> <p>(平成 28 年度は前年の検討結果を踏まえ、試験的に在宅勤務を導入予定)</p>
--	--